

## 土壌医検定を取得して

岐阜県立郡上高等学校 園芸科学科3年 清水美吹

私は郡上高校の園芸科学科に所属し、「野菜」を専攻しています。授業や実習でトマトやナス、ピーマン、キュウリ、メロンなどを栽培しています。野菜の授業で「土」についての分野があり、土についての学習を深めることを目的として土壌医検定に挑戦しました。

私が特に勉強になったのは、土壌の化学性についてです。土壌には必須要素である、窒素、リン、カリウム、鉄、マンガン、亜鉛などがあり、それらを使って植物は成長していきます。これらの要素は必須多量要素、必須微量元素といわれ、植物の成長に対してそれぞれ違う働きをしています。例えば、窒素はタンパク質を構成し植物の生育・収量に大きく影響する、リンは核酸やリン脂質の構成要素で、植物の分けつ、根の伸長、開花、結実を促進する、カリウムは多くの酵素の活性化等に関与しており、デンプンの蓄積、ショ糖の転流を促進する、などといった元素によって働きが全く異なります。私は、植物に対してこんなに多くの働きがあるなんて、土壌の勉強をするまで一切知りませんでした。ですが、勉強していくうちに、「この元素は植物体の伸長についての働きがあるから、この時期にはたくさん必要だな、この時期は少なくともいいんだな。」などと分かるようになってきました。

今回、土壌医検定に挑戦したことで授業や実習で学んだことがより深く理解できるようになり、とてもよかったですと思っています。実習中に「この土は粘り気があるから保肥性が高いね」などと言ってみたりもして、実習がより楽しく学ぶことができるようになりました。

私は今、「課題研究」で「メロンの二期作」についての研究を行っています。二期作なので一年のうち二回メロンを作ります。ここで土壌について二つの課題があります。それは、私の学校は山が校舎のすぐ裏で斜面に畑があり、山水が地下を流れてくるので排水性が悪いこと、一期作目の収穫が終わる前に二期作目の苗を定植しなければならず、土がやせてしまうことです。

これらの課題を解決するために、この検定を活かして課題解決ができるように取り組んでいきたいです。

